

事例紹介Menu

自治体の職員の方にご出講いただき、事例紹介をしていただきました。

岡山県倉敷市

災害対応における避難所の実態と教訓～平成30年7月豪雨災害を通して～

研修科目：災害に強い地域づくりと危機管理①

研修期間：令和7年5月26日（月）～5月30日（金）

概要：

平成30年7月の西日本豪雨災害を経験した倉敷市地域防災推進課の方を講師に迎え、災害の状況や防災・減災対策の実務上のポイント等についてご講義いただきました。

講義では、災害発生時の降水量や洪水が押し寄せた範囲・高さなど当時の状況のほか、災害対応における想定と現実のギャップについて、避難行動、職員配置、避難所運営体制、受援体制など項目ごとに失敗談や反省などを交えながらご説明いただきました。そして最後に、自治体職員としての心構えとして、大規模災害が発生した場合に自治体職員は災害対応に当たる覚悟が必要であることを述べ、研修生にエールを送られました。

災害対応の実態や教訓について学べる貴重な機会であり、研修生にとって、実効性のある防災・減災対策を進めるうえで大変参考となる講義でした。

石川県金沢市

金沢市のDXの取り組み

研修科目：業務改革（DX）のための基礎知識講座①

研修期間：令和7年7月7日（月）～7月9日（水）

概要：

金沢市のDXの取り組みとして、「これまでのデジタル関係施策」や「デジタル人材の育成」「育成後の活躍」等について、各業務所管課のDXの取り組み事例なども紹介しながら、ご講義いただきました。

受講生からは「市長直轄の体制や、外部の人材と一緒に進めている姿勢など、組織全体で前向きに取り組んでいる様子がよくわかりました」などの感想があり、明確な計画のもとで組織改革や業務改革を進め、技術導入と人材育成を両立させながら、市民サービスと行政運営の質の向上を目指している金沢市の姿勢は、受講生にとって大いに参考になり、よい刺激を与えていました。

兵庫県丹波市

対話する議会 若者の市政参画等

研修科目：議会事務①

研修期間：令和7年7月14日（月）～7月18日（金）

概要：

丹波市議会では、「開かれた議会」を目指して、さまざまな議会改革に積極的に取り組んでおり、第19回マニフェスト大賞では議会改革賞の最優秀賞を受賞しました。

講義では、議会と若者の距離を縮め、議員として新たな視点や気づきを得るとともに、若者の意見や考えを反映する取組である「丹波市議会×ミライプロジェクト」のほか、議会運営の改善や政策提言等に生かすための各種団体・学生等との「懇談の場」、さらに市政の諸課題に柔軟に対応するために実施している「市民との意見交換会」について、ご説明いただきました。

今後、各自治体が議会改革を推進していくうえで、多くのヒントを得られた貴重な時間となりました。